

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	小規模建築物地盤調査小委員会		主 査 名：平出 務 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：時松孝次
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>小規模建築物のうち、特に戸建住宅を中心に東日本大震災における液状化地盤の非液状化層と液状化層との関係についての検証やスウェーデン式サウンディング試験孔を利用した地下水位計測法、土質試験用試料の採取方法ならびに土質判別法を明らかにする。また、これまでの液状化対策工法の妥当性の検証を行うとともに既存住宅での液状化対策工法について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年度：東日本大震災における戸建て住宅の被害事例の収集と戸建て住宅の地盤調査法についての文献収集と整理 ・ 2 年度：住宅における各種地盤調査法に関するシンポジウム開催と建築技術者のためのガイドブック出版 ・ 3 年度：新築及び既存住宅における液状化被害軽減方法の検討とまとめ 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：平出 務(建築研究所)，幹事：松下克也(ミサワホーム) 委員：安達俊夫(日本大学)，藤井衛(東海大学)，酒匂教明(日本大学)，市村仁志(大和ハウス工業)，小川正宏(報国エンジニアリング)，金子雅文(住友林業)，権田将也(三井ホーム)，品川恭一(一条工務店)，高田徹(設計室ソイル)，二川和貴(積水化学工業)，星野忠雄(パナホーム)，利藤房男(応用地質)，渡辺佳勝(トラバース)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	40,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 新築及び既存住宅における液状化被害軽減方法の文献収集 (達成度 100%) 2. 現状における液状化被害軽減方法の文献収集とまとめ (達成度 100%)
委員会活動の問題点 ・ 課題	なし